

令和5年度

さいたま 知 っ 得 予 算

SAITAMA SHITTOKU YOSAN

「知って得する」さいたま市の予算と財政状況



はじめに

冊子の作成に当たって

「さいたま知っ得予算」は、さいたま市の予算や財政についてわかりやすくまとめ、「知って得する」内容を目指して作成しました。

市民の皆様に納めていただいた税金がどのように使われているのか、さいたま市の財政状況はどうなっているのか、理解を深めていただければ幸いです。



目次

CONTENTS

予算編 「さいたま市のお金の使いみち」

- 予算って何？ _____ 1
- 予算はどうやって決めるの？ _____ 1
- 会計って何？ _____ 2
- 歳入と歳出の内訳は？ _____ 3
- 市民1人当たりの予算は？ _____ 6
- さいたま市の予算を家計に置き換えると？ _____ 7
- 今年度はどのような事業に取り組むの？ _____ 8

財政状況編 「さいたま市のフトコロ事情」

- 歳入の状況は？ _____ 11
- 歳出の状況は？ _____ 12
- もしものときの備えはあるの？ _____ 13
- 借金はいくらあるの？ _____ 14
- さいたま市のフトコロ事情は安心？ _____ 15

Q 予算って何？

A さいたま市の1年間の収入（歳入）と支出（歳出）の見積りです。

市民の皆様にご納めいただく税金は、国、県、市の収入となって、さまざまな行政サービスに使われています。

国や地方公共団体は、新しい年度が始まる前に、税金などの収入と行政サービスに使う支出の金額をあらかじめ見積もって、事業の内容を計画します。この見積りが「予算」です。

予算を見れば、この1年間、どのくらいのお金が入ってくると見込んでいて、何にいくら使う計画であるかがわかります。

なお、1年間の収入と支出の実績を「決算」といいます。

Q 予算はどうやって決めるの？

A 市長が予算案を作り、議会の審議を経て決まります。

4月1日から翌年の3月31日までの1年間に必要とされる予算は、「当初予算」として、年度が始まる直前の2月定例会（議会）で決まります。

年度の途中で状況の変化や緊急の事態が発生した場合、それに対応するため、当初予算に変更を加えるものが「補正予算」です。



当初予算編成の流れ

財政局
(9月頃)

翌年度の予算を作るための方針（予算編成方針）を定めます。

各部局
(10月頃)

市民の意見や地域の状況などを踏まえ、翌年度にどんな行政サービスを行うべきかを検討し、予算を見積もります。

市長
(1月頃)

各部局から出された案について、市全体での事業の緊急性や優先順位などを検討し、最終的な予算案をまとめます。

議会
(2月～3月頃)

議会に提出された予算案は、議会での審議・議決を経て、予算として決まります。

Q 会計って何？

A 全ての予算をひとつの会計で扱うと、複雑でわかりにくくなります。そこで、基本的な経費を扱う「一般会計」のほか、それぞれの収入で事業を行う「特別会計」と「企業会計」に経理を分けています。



会計の種類と令和5年度当初予算額

全会計合計
1兆1,289億円
(前年度1兆916億円)

一般会計

6,690億円
(前年度6,373億円)

福祉、教育、道路・公園の整備など、市の基本的なサービスを行う会計で、主に市税で賄われています。

特別会計(13会計)

3,244億円
(前年度3,237億円)

特定の収入を特定の支出に充てるため、一般会計と区別している事業の会計です。

- ・国民健康保険事業
- ・介護保険事業
- ・大宮駅西口都市改造事業 など

企業会計(3会計)

1,354億円
(前年度1,305億円)

民間企業と同じように、基本的には事業の収益で賄われている会計です。

- ・水道事業
- ・病院事業
- ・下水道事業



One Point !

国の第2次補正予算に伴う出産・子育て応援事業や防災・減災、国土強靱化の推進などについて、迅速かつ切れ目なく実施するため、令和4年度12月補正予算から令和5年度当初予算までの16か月予算として編成しています。

一般会計			
	【令和4年度】 12月補正予算 2月補正予算 77億円	+	【令和5年度】 当初予算 6,690億円
		=	【16か月予算】 6,767億円

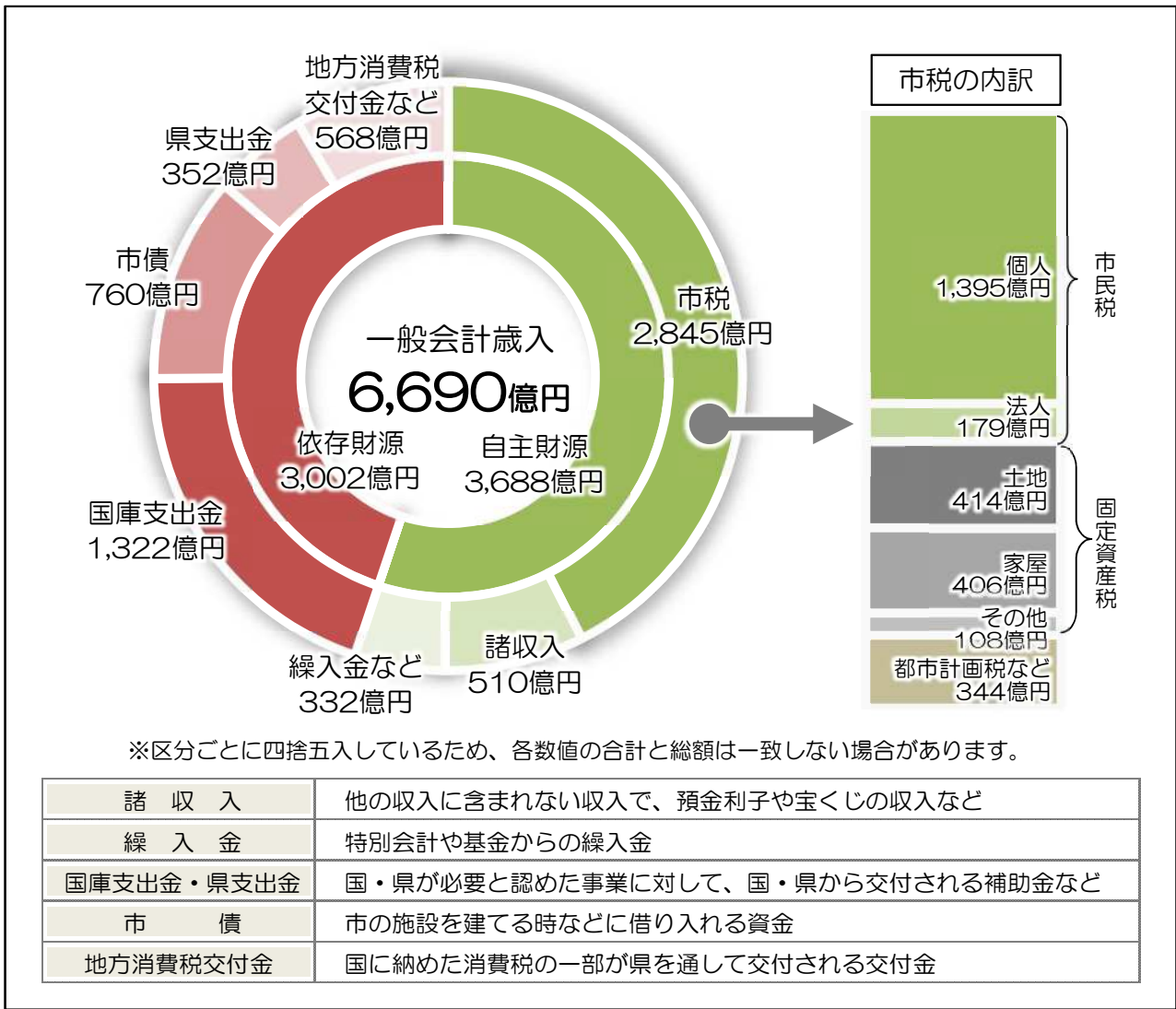
※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と総額は一致しない場合があります。

Q 歳入と歳出の内訳は？

A 地方公共団体では、収入を「歳入」といい、支出を「歳出」といいます。今年度の一般会計の歳入と歳出を見てください。



令和5年度当初予算 歳入の内訳



One Point !

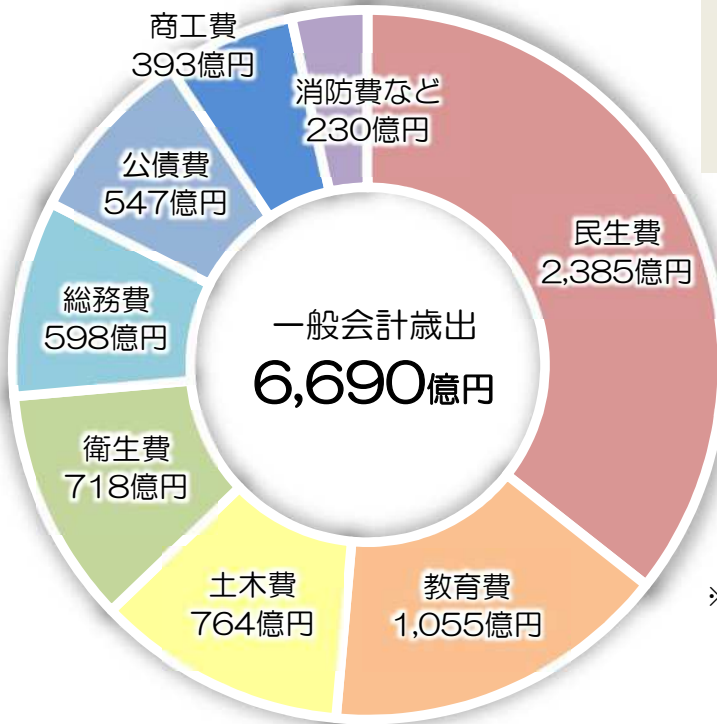
歳入には、市税のほか、国や県から交付されるお金や市で借り入れるお金（市債）など、様々なものがあります。これらは、市が国や県に依存しないで自主的に収入できるかどうかで、「自主財源」と「依存財源」に分けられます。

- 〔自主財源〕 市税、諸収入など
- 〔依存財源〕 国庫支出金、県支出金、市債など

市民の皆様の様々なニーズに対応して事業を行っていくためには、自主財源の確保が重要です。自主財源の中で最も大きな割合を占めるのが市民の皆様の税金（市税）であり、その半分以上が個人と法人の皆様に納めていただく市民税です。



令和5年度当初予算 歳出（目的別）の内訳



今年度、さいたま市が取り組む主な事業については、8ページ以降に掲載しています。

※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と総額は一致しない場合があります。

民生費	障害者や高齢者の福祉、子育て支援などの経費
教育費	学校教育、生涯学習などの経費
土木費	道路、河川、公園のような社会資本整備などの経費
衛生費	健康増進、疾病予防、環境保全、ごみ処理などの経費
総務費	庁舎や財産の維持管理、税金の徴収、選挙などの経費
公債費	借りたお金（市債）の返済に要する経費
商工費	商工業、観光の振興などの経費
消防費	消防、火災予防などの経費



One Point !

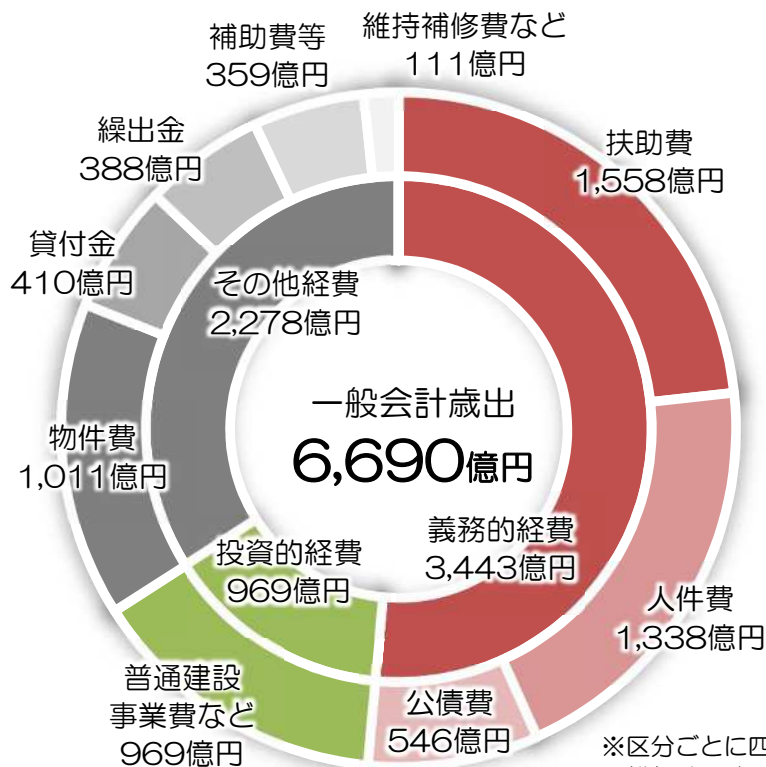
歳出は、分類方法の違いによって「目的別歳出」と「性質別歳出」の2つの視点から見ることができます。

- 〔目的別歳出〕 福祉・子育て、教育など、経費の目的ごとに分類
- 〔性質別歳出〕 人件費、扶助費など、経費の性質ごとに分類

「教育費はどのくらいかかっているんだろう？」というのは目的別歳出を、「人件費はどのくらいかかっているんだろう？」というのは性質別歳出を見ればわかります。



令和5年度当初予算 歳出（性質別）の内訳



補助費、人件費、公債費の3つの経費は、毎年度必ず支出する固定的な経費であるため、「義務的経費」といいます。令和5年度当初予算では、義務的経費の占める割合は51.5%です。

また、道路、公園、学校などを整備する普通建設事業費などの経費を「投資的経費」といいます。

令和5年度当初予算では、投資的経費の占める割合は14.5%です。

※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と総額は一致しない場合があります。

扶 助 費	生活保護、医療費の助成などにかかる経費
人 件 費	職員の給料や退職手当などにかかる経費
公 債 費	借りたお金（市債）の返済にかかる経費
普通建設事業費	道路や公園、学校などを整備するための経費
物 件 費	光熱水費、消耗品費、施設の管理費などの経費
貸 付 金	中小企業資金融資などの貸付金
繰 出 金	一般会計から特別会計に支出する経費
補 助 費 等	行政上の目的で市が交付する補助金などの経費
維持補修費	道路や公共用施設などを修繕するための経費



One Point !

市がお金を借りる理由を説明します。例えば、学校などを建設するときは、多額のお金を必要とするため、単年度の支出が過大にならないよう、銀行などからお金を借りることとしています。また、完成してから何十年も使いますが、お金を借りずに建てる年にまとめて支払いをしてしまうと、その年にいる市民だけが費用を負担することになります。そうすると、その後引っ越してきた人や次の世代の人は費用を負担せずに学校を使うことができ、不公平になってしまいます。

そのため、長い期間利用する施設を建てるなどには、将来の市民にも費用を公平に負担してもらうためにお金を借りて、長い期間をかけて返済していくことで、計画的な財政運営を行うことができます。

Q 市民1人当たりの予算は？

A

一般会計の当初予算額を市民1人当たりに換算すると、約50万円となります。目的別に分けて、その内訳を見てみましょう。

(令和5年1月1日現在の人口1,339,333人に基づき算出)

	総額	市民1人当たり
 きれいな街に ごみの処理、廃棄物処理施設の整備・維持管理 リサイクルの推進、地球温暖化対策 再生可能エネルギーの推進、環境美化の推進など	285 億円	2.1 万円
 保健・福祉・医療に 保健衛生、生活保護、障害者の支援 医療体制の充実、国民健康保険事業特別会計・ 病院事業会計への繰出しなど	1,390 億円	10.4 万円
 高齢者支援に 社会参加の推進、介護予防の推進 高齢者福祉施設の維持管理、介護保険事業特別会 計・後期高齢者医療事業特別会計への繰出しなど	391 億円	2.9 万円
 子育て支援に 保育所の整備・運営、幼児教育の推進、障害児の支 援、青少年の育成、児童相談所の運営 ひとり親家庭等への自立支援など	1,037 億円	7.7 万円
 学校・教育に 学校教育の実施、学校施設の整備・維持管理 生涯学習の推進、文化財の保護 公民館・図書館・博物館の維持管理など	1,055 億円	7.9 万円
 地域活動・スポーツ・文化の振興に コミュニティ活動の推進、防犯・交通安全の啓発 スポーツ環境の整備、文化芸術活動の推進 市民会館の整備・維持管理など	161 億円	1.2 万円
 道路や公園整備などのまちづくりに 道路・河川・公園・市営住宅の整備・維持管理 下水道事業会計への繰出し 市街地再開発事業、土地区画整理事業など	764 億円	5.7 万円
 産業の振興に 地域経済の振興、中小企業・成長産業の支援 農業の振興、農業用施設の整備、就労者の支援など	423 億円	3.2 万円
 消防や火災予防に 消防活動の実施、警防体制の強化、火災予防の推進 救急活動の実施、消防施設の維持管理など	181 億円	1.4 万円
 市役所の運営・市債の返済に 議会の運営、人事の実施、予算・決算の調製 市税の徴収、市有財産の管理、防災計画の策定 情報公開の推進、選挙の実施、市債の返済など	1,003 億円	7.5 万円
合計	6,690 億円	50.0 万円

※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と総額は一致しない場合があります。

Q さいたま市の予算を家計に置き換えると？

A 一般会計当初予算を家計に置き換えてみましょう。

大きな金額の予算を身近に感じていただくため、令和5年度の一般会計当初予算6,690億円を、給与所得者の平均給与である443.3万円※（月収369,000円）の家計に置き換えてみると、下の表のようになります。

家計では、食費・生活費や医療費・保育料、借金の返済に対する支出が増えると、貯金や家の増改築に回せるお金が減ってしまいます。

市でも同様に、人件費や扶助費、公債費に対する支出が多いと、積立金や建設事業に使えるお金が減ります。

そこで、さいたま市では、健全な財政を維持するため、民間活力の導入、事業の選択と集中、ICTやデータを活用した行政サービス、DXの推進など、行財政改革に取り組んでいます。

※出典：令和3年分民間給与実態統計調査（国税庁）



さいたま市の家計簿（1か月当たり）

歳入		歳出	
給料・諸手当 （市税、地方交付税 など）	281,000円	食費・生活費 （人件費）	74,000円
駐車場貸付収入 （使用料・手数料 など）	35,000円	医療費・保育料 （扶助費）	86,000円
預貯金の取崩しなど （繰入金）	11,000円	借金の返済 （公債費）	30,000円
銀行からの借入れ （市債）	42,000円	光熱水費、衣料費など （物件費 など）	76,000円
		子どもへの仕送り （繰出金）	21,000円
		家の簡易修繕費 （維持補修費）	3,000円
		預貯金など （貸付金、積立金 など）	26,000円
		家の増改築費 （普通建設事業費）	53,000円
	合計	369,000円	合計

Q

今年度はどのような事業に取り組むの？

A

政令指定都市として二十歳を迎えたさいたま市が、大都市としての成熟を深めながら、次なるステージへと飛躍するべく、ポストコロナを見据え、さいたま市の新時代へのシンカに取り組めます。

令和5年度の主な事業（4本の柱）

感染症や自然災害に備えた強靱な都市づくり

市民の生命及び健康を守るため、ワクチン接種体制の確保及び予防接種を推進するとともに、感染症危機のリスクに対応できるよう地域医療体制の充実を図ります。また、首都直下地震や激甚化する自然災害への対策強化のため、治水対策施設の整備、都市・生活インフラの耐震性の確保などに取り組みます。

【主な事業内容等】

- ・新型コロナウイルスワクチン接種体制の確保〔117億1,006万円〕
- ・自宅療養者の相談対応やパルスオキシメーターの配送〔11億8,478万円〕
- ・流域対策施設整備の推進〔2億1,560万円〕
- ・市立中学校体育館への空調機整備等の推進〔17億4,490万円〕

ポストコロナを見据えたさいたま市の魅力づくり

ポストコロナに向け、新たなニーズを捉えつつ、さいたま市らしさを深化させます。また、新庁舎整備・現庁舎地の利活用の検討、東日本の中枢都市として地域経済の活性化など、本市独自の成熟した大都市のかたちを築き上げます。

【主な事業内容等】

- ・新庁舎の整備及びさいたま新都心のにぎわい創出〔2億305万円〕
- ・現庁舎地利活用の検討及び浦和駅周辺地区のまちづくりの推進〔4,467万円〕
- ・大宮駅グランドセントラルステーション化構想の推進〔1億9,841万円〕
- ・地下鉄7号線の延伸及び浦和美園～岩槻地域のまちづくりの推進〔1億2,604万円〕
- ・中央区役所周辺の公共施設の再編とデジタル化の推進〔7,917万円〕
- ・政令指定都市移行・区制施行20周年記念事業の実施〔4億2,244万円〕

誰一人取り残さない持続可能でインクルーシブな地域づくり

少子高齢化の進行、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響による経済活動の停滞など、社会経済状況が大きく変化し続ける中、本市が持続可能な成長・発展を続けていくために、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念を基に、セーフティネットを確保しつつ、誰もが住みやすく持続可能な地域社会の実現を目指します。

【主な事業内容等】

- ・ケアラー・ヤングケアラーへの支援の充実〔7,966万円〕
- ・医療的ケア児の受入支援体制の強化〔1億5,973万円〕
- ・新療育センターの整備〔8,592万円〕
- ・ひまわり特別支援学校知的障害教育部門高等部の開設〔315万円〕
- ・3歳児健康診査における眼科屈折検査の実施〔2,162万円〕
- ・学校、高齢者・障害者施設、保育所・幼稚園等への物価高騰支援〔16億7,379万円〕

公民学共創と質の高い市役所づくり

多様化する市民ニーズや新しいライフスタイルに対応するため、従来の行政の在り方を絶えず見直し、市民の皆様と職員がともに幸せになる「Well-being（幸せ）経営」を実現していきます。また、多様化・複雑化する行政課題に柔軟に対応するため、公民学共創をより一層推進し、新たな時代に対応する市役所を創造します。

【主な事業内容等】

- ・窓口手続のオンライン化拡充〔1,834万円〕
- ・働きやすい職場環境整備の推進〔1億4,965万円〕
- ・キャッシュレス決済の対象拡大〔1億7,292万円〕
- ・Park-PFI等公民連携による公園のにぎわい創出〔442万円〕

上質な生活都市・東日本の中核都市 の実現に向けて

総合振興計画が掲げる「上質な生活都市」「東日本の中核都市」という2つの将来都市像の実現に向けた取組として「重点戦略」と「質の高い都市経営の実現」に沿って、令和5年度の主な事業の一部を紹介します。

重点戦略1 「さいたま」の5つの魅力を生かして、成長・発展する戦略

先進技術で豊かな自然と共存する環境未来都市の創造	
見沼田圃の保全と新たな活用・創造の推進 予算額 5,598万円	市有施設への再生可能エネルギー設備等の導入 予算額 8,342万円
「農・自然・歴史とふれあう、憩いのふるさと”みぬま”」を実現するため、アクションプランに基づき、3つの市民プロジェクトに取り組むとともに、情報発信力を強化します。	温室効果ガス排出量を削減するとともに、災害に強い持続可能なまちづくりを目指すため、公民館における再生可能エネルギー設備等の導入を推進します。
一人ひとりが“健幸”を実感できるスマートウエルネスシティの創造	
運動習慣の獲得に向けた健康マイレージの推進 予算額 1億5,810万円	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 予算額 4,941万円
ICTを活用し、楽しみながら継続的な運動習慣の獲得を図るため、歩数等に応じてポイントを付与する健康マイレージを実施するとともに市民に利用しやすいシステムを構築します。	医療・介護のデータから地域の健康課題を把握し、低栄養予防等を目的とした個別的な保健指導や、「通いの場」等での健康教育・健康相談等を実施します。
笑顔あふれる日本一のスポーツ先進都市の創造	
アーバンスポーツの活性化 予算額 1,161万円	JCHOさいたま北部医療センター跡地利活用の推進 予算額 2,267万円
国内で競技人口が増えているアーバンスポーツを楽しむ環境の整備に向けて、公民連携組織を支援するとともに、初心者や親子向けの体験機会を提供します。	JCHOさいたま北部医療センター跡地に、民間事業者が主体となって整備するスポーツ施設と公民館・児童センター等からなる複合施設を、公民連携により整備します。
子どもたちの未来を拓く日本一の教育都市の創造	
不登校等児童生徒支援センター（Growth）の機能強化 予算額 3,887万円	市立小学校における35人学級の推進 予算額 4億1,256万円
不登校等児童生徒支援センター（Growth）において、授業等を補助する外部人材やメタバースを活用したオンライン学習を新たに導入し、学習支援・相談支援の充実を図ります。	市立小学校の35人学級の実施等による学校の教室を確保するため、教室改修及び仮設校舎の設置を行うとともに必要な物品を購入します。
ヒト・モノ・情報を呼び込み、東日本の未来を創る対流拠点都市の創造	
さいたまセントラルパークの整備の本格化 予算額 11億8,941万円	東日本連携の推進による地域経済活性化 予算額 2,919万円
緑の核となり、地区内外から多くの人を訪れるさいたまセントラルパークの整備を推進します。	「東日本連携・創生フォーラム」を開催するとともに、東日本地域の商材の販路拡大やビジネス交流を進めることで、東日本全体の地域経済を活性化します。

One Point!

ここに掲載した事業は、市が行う事業の一部です。他の事業の概要などは、市ホーム

重点戦略2 未来に引き継ぐための持続可能なまちづくりを進める戦略

子どもから高齢者まで、あらゆる世代が輝けるまちづくり

多子世帯子育て応援金給付の実施 予算額 6,770万円	認知症の人にやさしい地域づくりの推進 予算額 1億746万円
多子世帯の育児に要する費用の経済的負担を軽減するため、第3子以降の子どもが生まれた家庭に対し、子育て応援金を支給します。	認知症の方の意思が尊重され、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症サポーターの養成や初期集中支援チームの設置等、切れ目ない支援を実施します。

激動する新時代に「未来技術」で躍動する地域産業づくり

中小企業の生産性・付加価値向上を通じた成長促進支援 予算額 4億3,184万円	就労支援の充実 予算額 1億161万円
市内中小企業の持続的な成長に向け、経営基盤強化と事業継続力向上の総合的な支援及びDX推進による生産性と付加価値向上を支援します。	求職者向けデジタルスキル習得講座の実施など求職者の世代・状況に応じた支援を実施するとともに、企業と求職者のマッチングにより市内企業等の人材確保を支援します。

災害に強く、市民と共につくる安全・安心なまちづくり

同報系防災行政無線の充実強化 予算額 3億3,794万円	地域の自主防犯活動や防犯カメラの設置等の支援 予算額 4,517万円
同報系防災行政無線の運用管理を行うとともに、基幹設備の更新を行うことにより、他の情報配信サービスとの連携を図り、災害時において市民へ必要な情報を迅速に伝達します。	市民、事業者、警察等関係機関との連携の下、防犯や暴力排除の意識の向上を図り、地域の自主防犯活動の支援や暴力排除活動を推進します。

環境に配慮したサステナブルで快適な暮らしの実現

一般廃棄物減量施策の推進 予算額 1,772万円	サーマルエネルギーセンター整備事業 予算額 57億1,230万円
循環型社会実現のため、食品ロス削減を含む一般廃棄物の3R（発生抑制・再利用・再生利用）に向けた取組を進め、プラスチックごみの更なる資源化について実証実験を実施します。	西部環境センターと東部環境センターを統合し、サーマルエネルギーセンターを建設するため、新施設のプラント機器設置工事を実施します。

絆で支え合い、誰もが自分らしく暮らせるまちづくり

自治会への加入促進 予算額 257万円	アーツカウンシルの充実 予算額 9,039万円
自治会向けICT活用に関する講座及び自治会電子回覧板モデル事業を実施します。	専門人材による調査研究、芸術活動支援及び文化発信プロジェクトなどの象徴的事業を実施するアーツカウンシルを運営し、文化芸術推進体制を強化します。

質の高い都市経営の実現

LINEを活用した情報発信の強化 予算額 385万円	さいたま市『ふるさと応援』寄附の受入拡大 予算額 8,771万円
市民が求める分野の情報をプッシュ型で届けるなど、LINEを活用した情報発信の強化に取り組みます。	返礼品や外部ポータルサイトを拡充し、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用するとともに、企業版ふるさと納税の更なる活用を図るため、企業へのPR活動を推進します。

ページの「市政情報→政策・財政→予算・決算」でご確認ください。

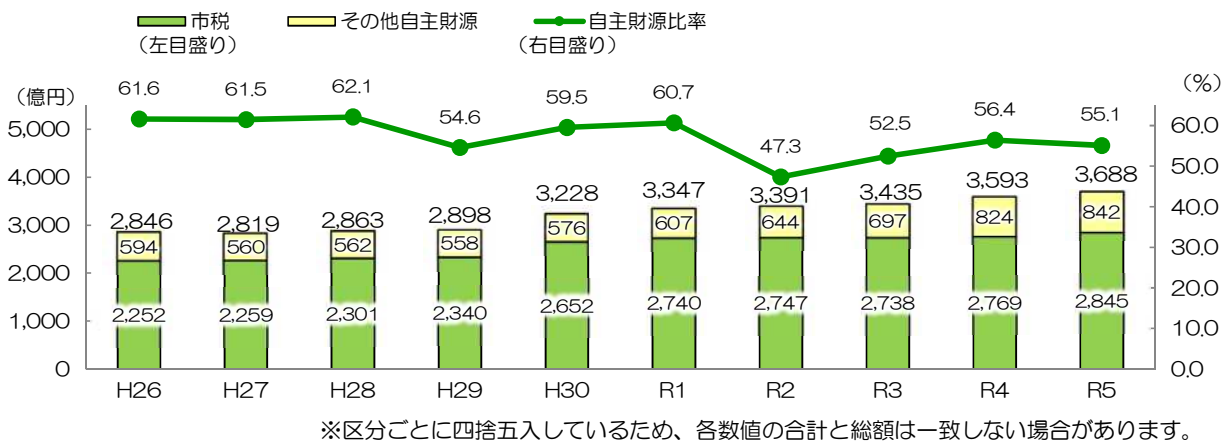
Q 歳入の状況は？

A 一般会計の令和5年度予算は、人口増に伴う納税義務者数の増加等による市税の増収が見込まれるほか、普通建設事業分等に係る市債の発行増等により、令和4年度に比べて増収を見込んでいます。



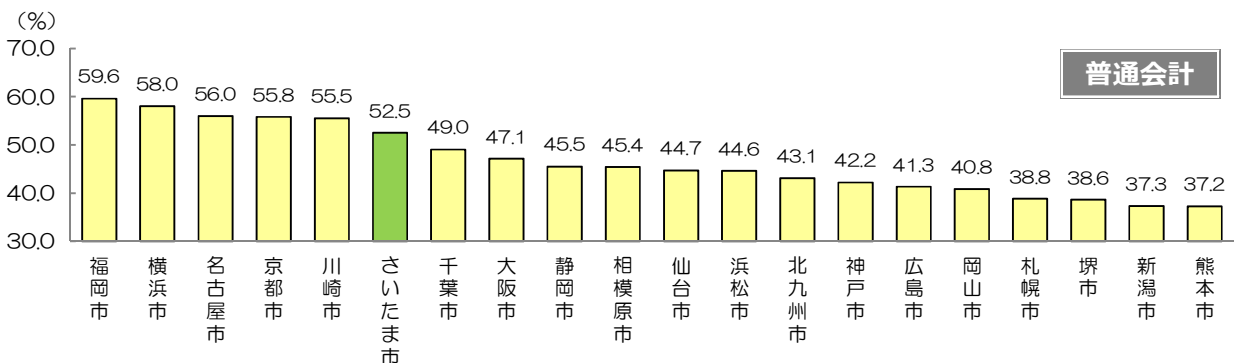
一般会計の自主財源の推移（令和3年度以前は決算額、令和4年度以降は当初予算額）

さいたま市の一般会計の歳入における自主財源は年々増加しています。なお、令和2年度の自主財源の割合（自主財源比率）は、特別定額給付金給付事業などにおける国庫支出金の増加等により、一時的に減少しました。



政令指定都市の自主財源比率（歳入に占める自主財源の割合）の比較
（令和3年度普通会計※決算） ※下の「One Point!」参照

さいたま市の自主財源比率は、政令指定都市の中でも比較的高い水準にあることがわかります。



One Point !

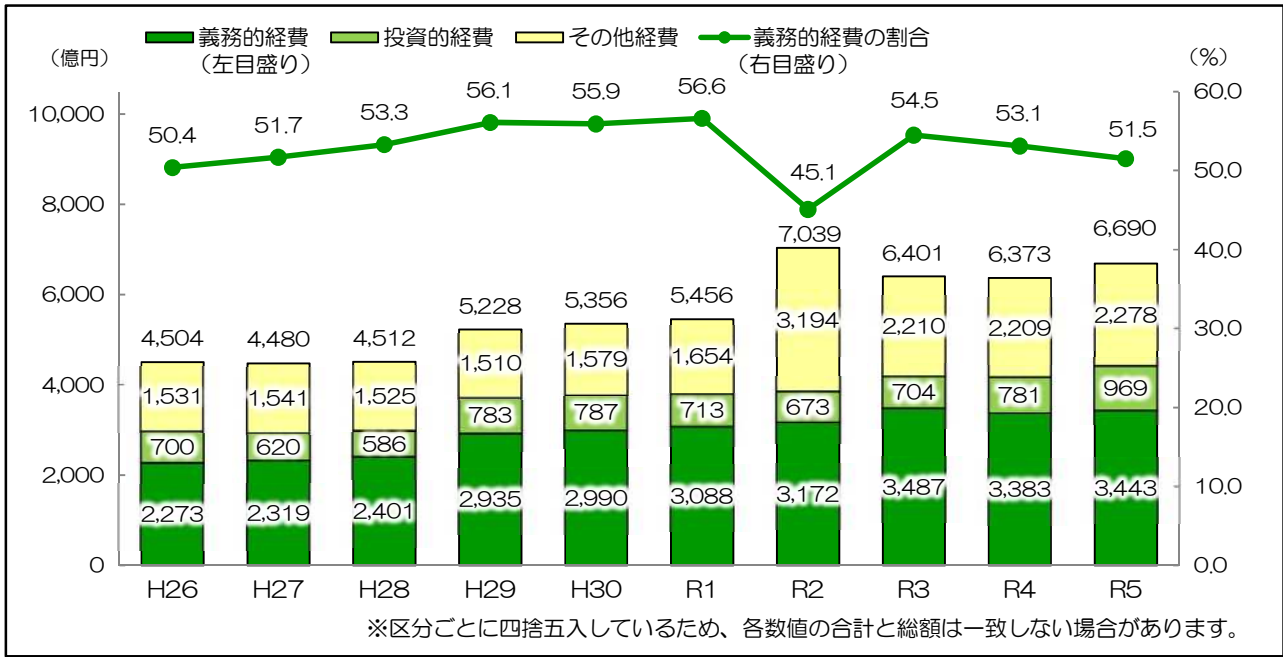
上のグラフの「普通会計」とは、一般会計とは異なり、地方公共団体ごとに異なる会計の範囲を一定の基準で区分し直した会計で、地方公共団体間の財政状況の比較などのために使われます。

Q 歳出の状況は？

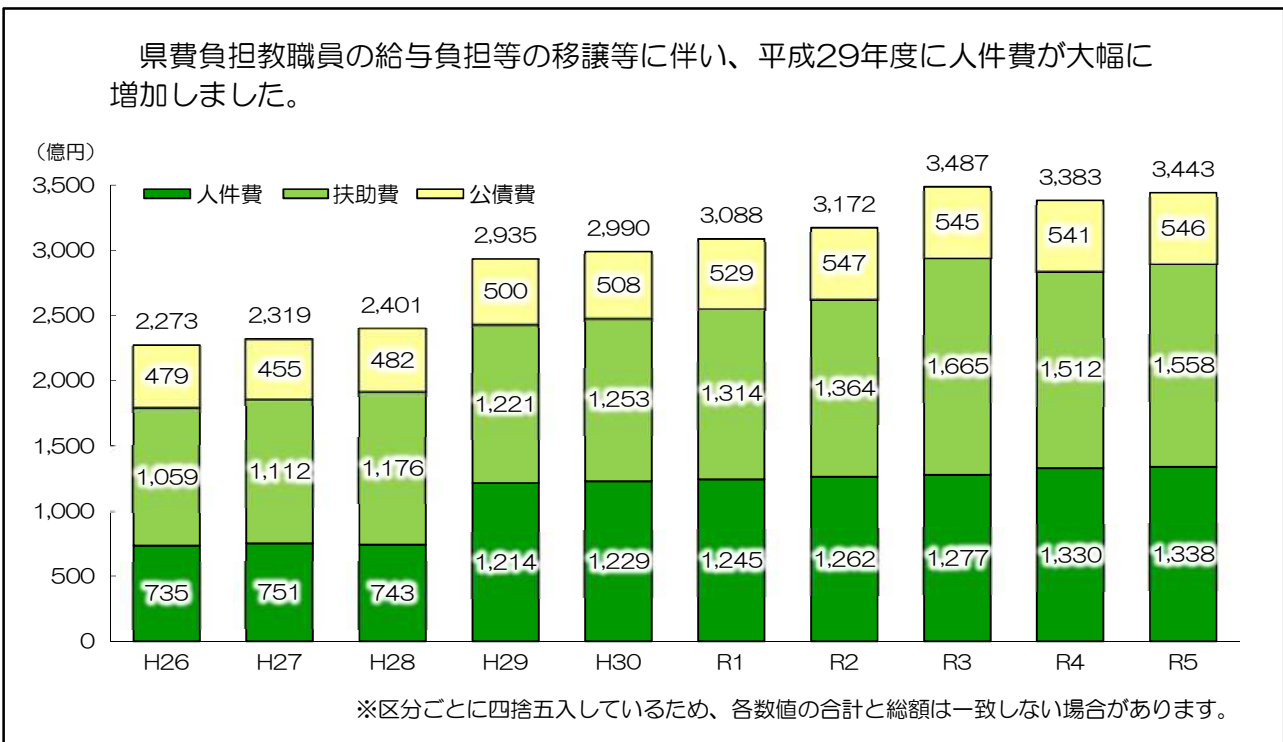
A 歳出のうち、人件費・扶助費・公債費の3つを合わせた義務的経費が年々増加傾向にあります。特に、扶助費については、高齢化や待機児童対策のための保育施設の増設などの影響により大きく増えており、今後も増加傾向が続く見込みです。



一般会計歳出（性質別）の推移
（令和3年度以前は決算額、令和4年度以降は当初予算額）



一般会計の義務的経費の推移
（令和3年度以前は決算額、令和4年度以降は当初予算額）



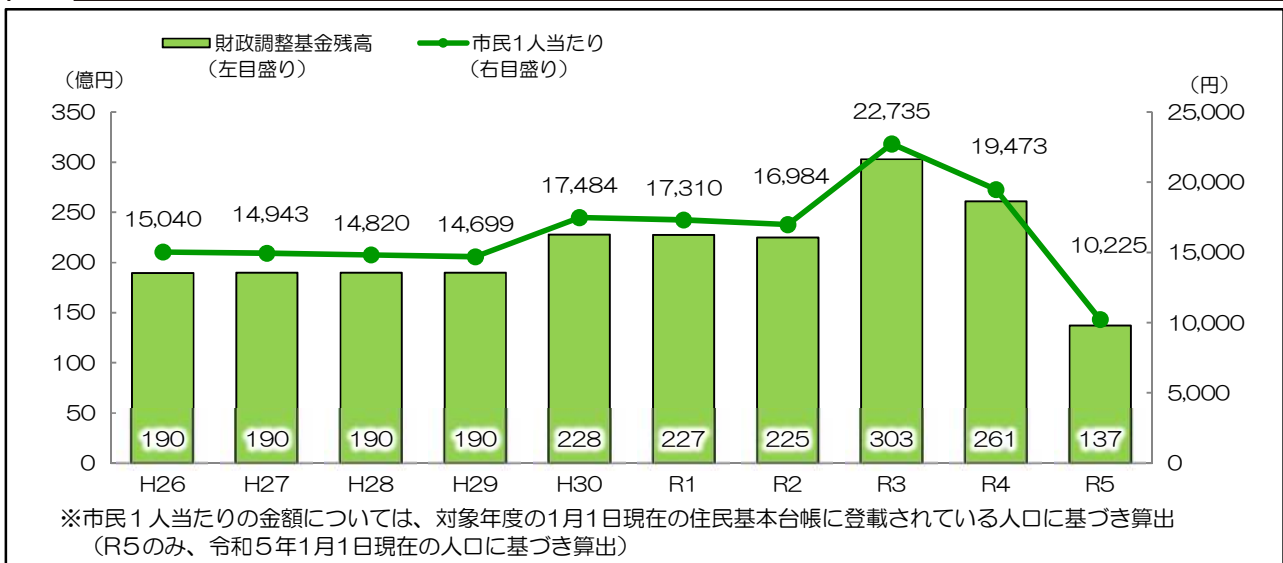
Q もしものときの備えはあるの？

A 市は「財政調整基金」という貯金を持っており、令和5年度末の残高見込（当初予算編成時）は、約137億円です。

経済情勢の変動による財源不足や災害発生など緊急に支出が必要な場合に備え、財政調整基金を積み立てています。財源に余裕がある場合や決算剰余金が発生した場合に積み立て、必要に応じて取り崩すことにより、年度間の財源の不均衡を調整しています。



財政調整基金の年度末残高の推移
（令和3年度以前は決算額、令和4年度以降は見込額）



Q ほかに基金はあるの？

A 市は「財政調整基金」のほかにも次のような基金を持っています。

<p>公共施設マネジメント基金</p> <p>令和5年度末残高見込 140.7億円</p> <p>市の公共施設の計画的な保全又は更新に必要な経費の財源として活用します。</p>	<p>庁舎整備基金</p> <p>令和5年度末残高見込 74.8億円</p> <p>庁舎の整備に必要な経費の財源として活用します。</p>
<p>文化芸術都市創造基金</p> <p>令和5年度末残高見込 2.2億円</p> <p>文化芸術都市の創造に関する施策の推進に必要な経費の財源として活用します。</p>	<p>ふれあい福祉基金</p> <p>令和5年度末残高見込 0.9億円</p> <p>社会福祉事業の推進に必要な財源として活用します。</p>



One Point !

さいたま市には他にも色々な基金を持っており、使い道に応じて活用しています。

など

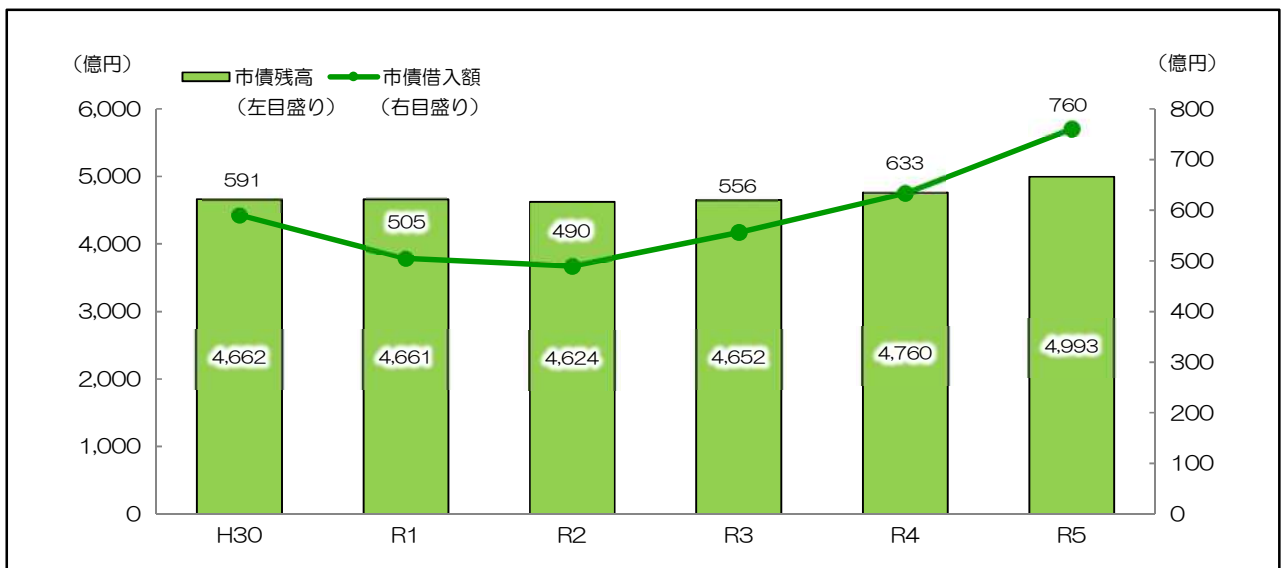
Q 借金はいくらあるの？

A 市の借金を「市債」といい、一般会計における令和5年度末の残高見込（当初予算編成時）は、約4,993億円です。

今後も都市基盤の整備等を進めていくことで、市債の残高が増えていく可能性があります。

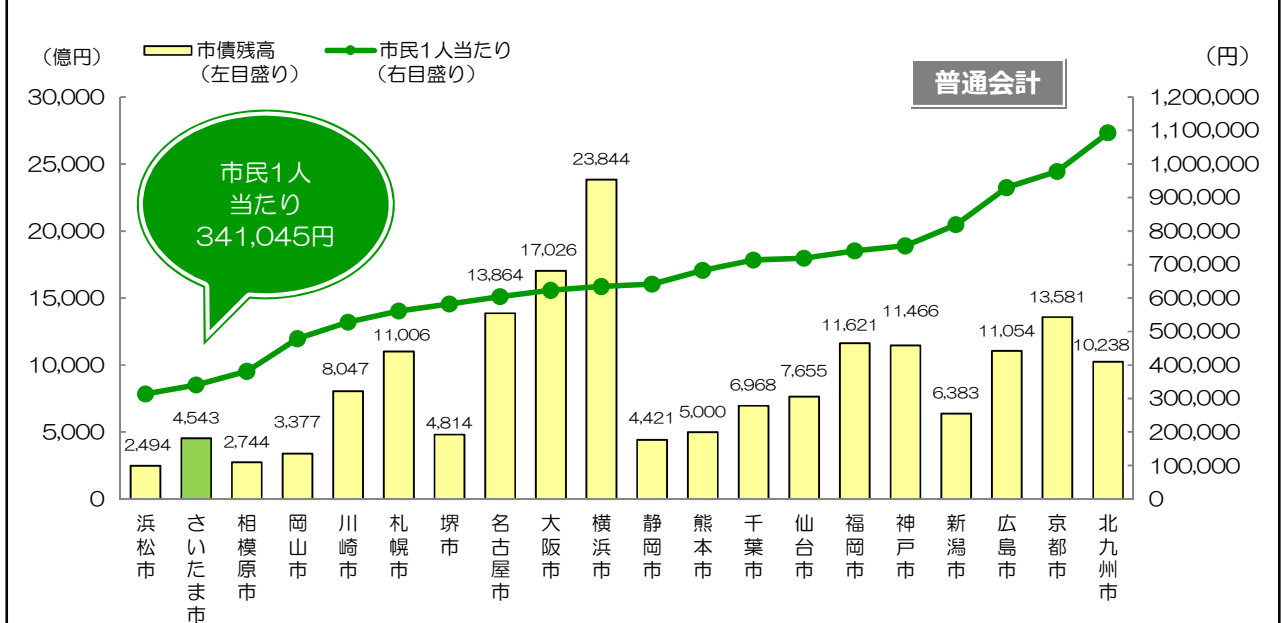


一般会計の市債残高及び借入額の推移
（令和3年以前は決算額、令和4年度以降は見込額）



政令指定都市の市債残高の比較（令和3年度普通会計決算）

市民1人当たりの残高では、政令指定都市の中で2番目に少ないことがわかります。これは、市債残高の抑制を意識した財政運営を行ってきたことによるものです。



※市民1人当たりの金額については、対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づき算出

Q

さいたま市のフコロ事情は安心？

A

令和3年度決算に基づいて算出した指標では、健全であるといえます。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」では、地方公共団体の財政状況を客観的な指標でチェックする基準が定められています。

さいたま市では、将来世代への責任を果たすため、健全な財政運営を維持しており、国が定めた財政健全化に関する基準を全てクリアしています。



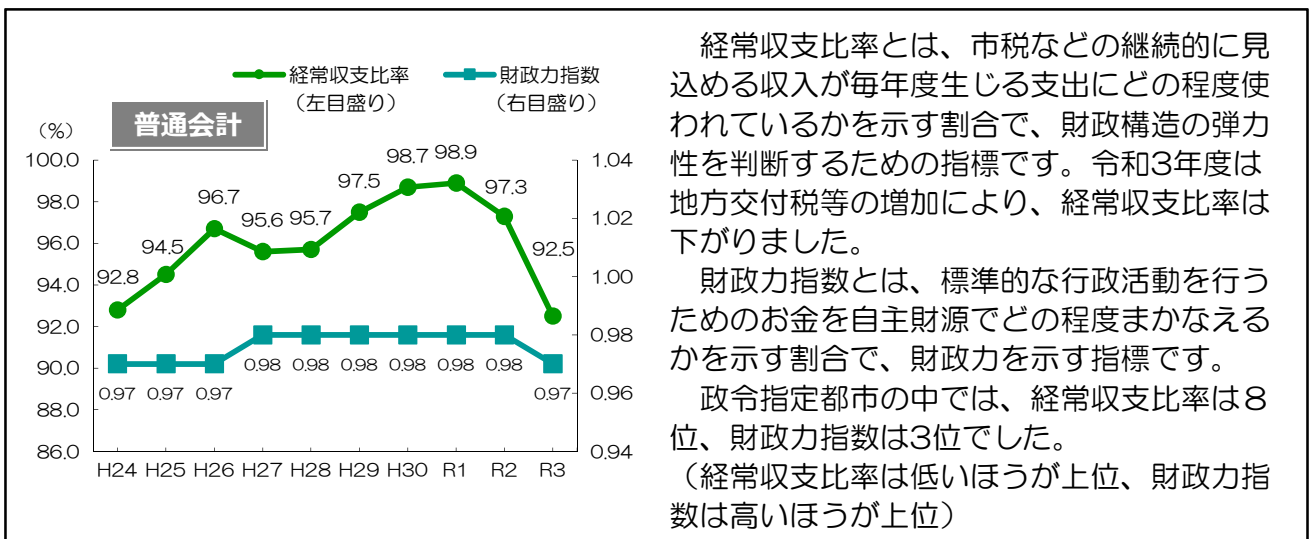
財政健全化指標（令和3年度決算）

指標	解説	さいたま市	早期健全化基準 ^{*1}	財政再生基準 ^{*2}
健全化判断比率 実質赤字比率	財政規模に対する一般会計等の赤字の割合	(赤字なし)	11.25%	20%
連結実質赤字比率	財政規模に対する全会計の赤字の割合	(赤字なし)	16.25%	30%
実質公債費比率	財政規模に対する1年間で支払った借入金返済額等の割合	6.5%	25%	35%
将来負担比率	財政規模に対する将来市が支払う借入金返済額等の割合	18.9%	400%	
資金不足比率	公営企業ごとの事業規模に対する資金不足額の割合	-	20%	

※1 この基準以上となった場合、自主的な改善努力を図るため、財政健全化計画を策定します。
 ※2 この基準以上となった場合、国の関与による確実な再生を図るため、財政再生計画を策定します。



経常収支比率と財政力指数の推移（令和3年度普通会計決算）



まとめ

さいたま市は、これまで積極的な民間活力の導入、事業の選択と集中、ICTやデータを活用した行政サービス、DXの推進、安定した市税収入を確保するための取組などにより、健全な財政運営を行ってきました。

今後も安定的な財政を維持するため、より少ない予算でより大きな効果を上げられるようにこれからも取り組んでいきます。



もっと身近に、
もっとしあわせに



お知らせ . . .

- この冊子は市のホームページでご覧いただくことができます。
市ホームページ <https://www.city.saitama.jp/>
(トップページから、市政情報→政策・財政→財政状況にお進みください。)
- 市の予算・決算について詳しく知りたい方は、次の冊子もご覧ください。
「令和5年度 予算案の概要」
予算の概要や主な事業を掲載しています。
(トップページから、市政情報→政策・財政→予算・決算→予算にお進みください。)
- **「さいたま市の財政」**
予算の執行状況や財産状況など、市の財政状況を掲載しています。
毎年6月と12月の年2回発行しています。
(トップページから、市政情報→政策・財政→財政状況にお進みください。)
- 宝くじは、埼玉県内の売場でお買い求めください。
埼玉県内で販売された宝くじの売上の一部は、さいたま市の収入になり、
子どもたちの健全な育成など、皆様の生活につながる事業の財源に充てられます。
宝くじは、埼玉県内の宝くじ売場でお買い求めください。

令和5年度 さいたま知っ得予算

令和5年4月

編集発行 さいたま市財政局財政部財政課

T E L 048-829-1154

F A X 048-829-1974

この冊子は200部作成し、1部当たりの印刷経費は77円(概算)です。